

**令和5年度第4回  
音更町地域公共交通活性化協議会  
議案**

と き 令和6年3月26日（火）午後4時15分から  
ところ 音更町役場3階 特別会議室

# 次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 件

議案第1号 コミュニティバスへのフリー降車制度の本導入  
について

議案第2号 宝来・ひびき野地区を対象にしたバスの乗り方教室  
について

4 その他

# 議案第1号 コミュニティバスへのフリー降車制度の本導入について

## 1 これまでの利用実績について

### (1) フリー降車制度の利用実績

(単位：人)

年月	しらかば号 (十勝バス)	すずらん号 (北海道拓殖バス)	計
令和5年11月	14	21	35
令和5年12月	16	29	45
令和6年1月	15	31	46
令和6年2月	9	30	39
計	54	111	165

### <参考> 障がい者割引の実績

(単位：人)

年月	しらかば号 (十勝バス)	すずらん号 (北海道拓殖バス)	計
令和5年11月	86	64	150
令和5年12月	129	114	243
令和6年1月	135	91	226
令和6年2月	134	115	249
計	484	384	868

### (2) コミバス全体の利用実績

(単位：人、%)

年月	令和4年度 しらかば・すずらん計	令和5年度 しらかば・すずらん計	前年度比
4月～10月	18,342	18,282	99.7
～11月	21,023	21,144	100.6
～12月	24,109	24,562	101.9
～1月	26,774	27,455	102.5
～2月	29,628	30,523	103.0

## 2 試験導入において出てきた課題等

課題	対応方針（案）
○フリー降車の利用希望や降車希望場所を運転手に伝えるため、走行中に席から立つ人がいる。	○広報おとふけ5月号（令和6年4月25日発行）や町のホームページ、新聞記事などで、再度、利用方法や停車できない箇所、走行中に席を立たないことなどを周知徹底する。
○鳳乃舞などの坂の途中や、のむら葬祭音更町民斎場前などの交通量が多く、駐車場出入口付近などの危険な箇所での降車を希望する人がいる。	○コミバス内の車内掲示やデジタルサイネージでもこれらの点を周知する。 ○さらに、コミバス車内の案内放送においても、これらの点を周知する。
○乗車後、しばらくしてからフリー降車の利用希望を伝える人がいる。	○これらにより、安全運行の確保を図るほか、利用者の更なる増を目指す。
○フリー降車の利用者数が増えると、ダイヤに乱れが生じるため、調整できるように停留所や運行時間等を設定する必要がある。	○コミバスの更なる利便性向上を図るため、令和6年度中に、運行時間や運行ルートなどの見直しを行う予定であることから、これらの点も十分に踏まえながら、運行内容の見直し作業を進めていく。
○フリー降車の固定客が出てきており、利用が多い箇所にバス停の移設や新設を検討してもよいと思う。	
○北海道警察制定の「バス停留所設置安全基準」に基づき、フリー降車が可能な箇所を設定する必要がある。 例：交差点の横断歩道から15m以上離れたところ など	○試験導入時は、道路交通法の規定を参考に、「交差点から5m以内の箇所」などは禁止と周知したことから、広報おとふけ等で周知する際に、試験運行を踏まえ、安全運行の更なる徹底を図る観点から15m以内に見直すなどの周知を図る。

## 3 フリー降車制度の本導入について

令和5年11月にフリー降車や障がい者運賃割引制度を導入したことで、これまでよりも利便性などが向上したことにより、利用者が増加しているほか、試験運行においては、乗客のけがや交通事故などの事案も発生していないことから、フリー降車制度を本導入することとし、今後も、必要に応じて運用方法の見直しなどを図りながら、安全運行との両立を目指していきたい。

## 議案第2号 宝来・ひびき野地区を対象にしたバスの乗り方教室について

令和5年9月19日（火）開催の第2回会議において提案し、承認いただいた公共交通に関する勉強会について、次のとおり実施したので、その内容を報告するとともに、次年度以降の改善点などについてご意見をいただき、より効果的な実施内容にする。

### 1 日時

令和6年3月23日（土） 9：30～12：00

### 2 場所

ひびき野会館

### 3 内容

宝来・ひびき野地区にお住まいの方を対象に、十勝バス株式会社と北海道拓殖バス株式会社のご協力をいただいて路線バスの車両をお借りし、子どもコースと大人コースの2つのコースを設定して実施した。

#### (1) 子どもコース

##### ア バスの乗車体験

ひびき野会館 → 道の駅おとふけ → 北海道拓殖バス本社 → 帰館

- 車内：模擬のお金を利用し、乗車券を取り、降車ボタンを押して、乗車券とお金を運賃箱に入れる一連の流れを実際に体験
- 道の駅おとふけ：保護者と一緒に自由に散策
- 北海道拓殖バス：バスに乗車したまま、車内からバスの洗車を体験 など

##### イ バス運転手のなりきり体験

- 運転手の帽子やユニフォームを実際に着用し、運転席に座り写真撮影
- 運転席からの視界やミラーの見え方を体験 など

##### ウ 質問タイム

- 体験を通じて出てきた質問などに答える。

##### エ プレゼント贈呈

- ガチャの中に、動物のぬいぐるみを入れ、回して出てきたものをプレゼントするほか、マスキングテープやミニカ、クリアケース、ペーパークラフト、エコモ環境BOOK、温度計付きカード（十勝バスや北海道拓殖バス、北海道開発技術センター、交通エコロジー・モビリティ財団から提供）もプレゼントする。
- コミバスの無料券を各家庭10枚ずつ配布

## (2) 大人コース

### ア ミニ講座

- 健康面、環境面などから見た公共交通を利用することの利点のほか、路線維持のためには利用者数の増加が必須であることなどに関する説明
- 事前アンケートのよく行く場所の結果などを踏まえ、グーグルマップによる路線検索の方法の説明のほか、時刻表の見方などの個別相談を受け付ける。

### イ バス乗車体験

ひびき野会館 → 帯広駅バスターミナル → ばんえい競馬場 → 帰館

- 宝来・ひびき野地区から帯広厚生病院に路線バスで向かうことを想定してルートを設定。現状では、バスターミナルでの乗換えが必要になるため、乗換え方法を体感することを目的に、バスターミナルで一度降車した後、乗換バスの実際の乗り場から乗車できるよう、バスを移動して対応
- 車内：キャッシュレス決済の方法などについて説明
- ばんえい競馬場：自由散策

### ウ 質問タイム・プレゼント配布

- 一日を通じての質問などに答える。
- マスキングテープやクリアケース、ペーパークラフト、エコモ環境BOOKと温度計付きカード（十勝バスや北海道拓殖バス、交通エコロジー・モビリティ財団提供）を配布
- コミバス無料券を1人5枚ずつ配布

## 4 その他

参加者を対象に、今後の実施内容に反映させるためのアンケートを実施したが、その結果については現在集計中